

／ 社会で活躍する卒業生たち ／

※下記の内容は取材当時のものです。

教育学科 (仮称)
卒業後のイメージ

子どもに愛情をもって 教育する大切さ

Y.Iさん (2017年卒)
神奈川県・県立鶴嶺高等学校出身



東京都 小学校教諭 (公立小学校)

「子どもの幸せを願う多様な仕事に携わることができる人を育てる」という教育方針に魅力を感じ、白梅に入学しました。現場経験豊かな先生方が実体験に基づき熱意のある指導をしてくださり、子どもに愛情をもって教育する大切さを学ぶことができました。将来は小学校教諭になることを決めた私にとって、小学校教育の専門ゼミナールに入り同じ夢を持つ仲間と出会い専門的なことを学べる時間はとても貴重でした。白梅で得た学びや経験、出会いのすべてが、私の今につながっています。

子ども心理学科 (仮称)
卒業後のイメージ



発達障害や インクルーシブ保育の 知識を身につける

M.Oさん (2015年卒)
東京都・都立青梅総合高等学校出身

日野市 保育士 (公立保育園)

保育士になるために保育・教育者養成の歴史と伝統がある白梅学園大学へ進学しました。そして、保育の現場で働いたら発達障害やインクルーシブ保育の知識を持ちたいと考え、発達臨床学科を選びました。特別な支援を必要とする児童との交流を通して、言葉以外にもまばたきや指先の動きなど多様な方法でコミュニケーションが取れることを知りました。保育や教育の実践授業で仲間たちとたくさん考え話し合いを重ねることで、たくさん刺激を受けることができた大学生活でした。このことは現在、保育の現場で気になる子への理解や支援の方法を考えるきっかけになっています。